

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	19-4																																							
PDCA	主要事業名	高齢者保健・介護予防一体的実施事業	部課名	福祉部健康課	担当	内線	377	数内																																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 1 単位施策： 健康づくり 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 3,338 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.01.09.50							目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																							
	事業概要等	事業概要： 高齢者の心身の課題に対応するため、運動、口腔、栄養、社会参加等の観点から保健事業及び介護予防を一体的に実施する。KDBシステムに登録した健診結果や介護サービス等の情報を分析することで、地域の健康課題に応じた訪問指導や健康教育を実施する。																																													
		事業目的： 健診結果や介護サービス等の情報を分析し、訪問指導及び通いの場での健康教育等を実施することで、高齢者の健康状況の改善、生活機能向上を図る。																																													
		事業内容： 健康状態不明者への訪問指導、地域の健康課題に応じた通いの場での健康教育を実施する。																																													
		問題点・課題等： 健診結果や医療機関受診状況、介護サービスの利用状況などから高齢者の健康状況を分析し、効果的な支援内容を検討していく必要がある。																																													
	予算額	主要事業とする理由																																													
	3,338 千円	健診結果や介護サービス等の情報を分析し、訪問指導及び通いの場での健康教育等を実施することで、高齢者の健康状況の改善、生活機能向上を図るため。																																													
	財源内訳	得られる成果																																													
	市費 61 千円	高齢者の課題に応じた支援をすることで、健康状況、生活機能の改善につながり、高齢者が健やかに過ごせる社会を形成できる。																																													
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">訪問等実施者数</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>230</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康教育実施回数</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>55</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	訪問等実施者数	実績値	—	—	—	人	目標値	—	—	230	人	健康教育実施回数	実績値	—	—	—	回	目標値	—	—	55	回	その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																										
	訪問等実施者数	実績値	—	—	—	人																																									
		目標値	—	—	230	人																																									
	健康教育実施回数	実績値	—	—	—	回																																									
		目標値	—	—	55	回																																									
その他	実績値																																														
	目標値																																														
県費 0 千円																																															
3,277 千円																																															
D 実績得られた成果と	決算額	得られた成果																																													
	2,461 千円	健診・医療・介護等の情報把握した健康状態が不明な方（197名）へ訪問等を実施し、健康状態を把握し、医療・介護など必要な支援につなぐことができた。また、フレイル予防のための健康教育を実施して介護予防と健康づくりを推進した。																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">訪問等実施者数</td> <td>実績値</td> <td>197</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>230</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康教育実施回数</td> <td>実績値</td> <td>70</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>55</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							成果指標	令和4年度	単位	訪問等実施者数	実績値	197	人	目標値	230	人	健康教育実施回数	実績値	70	回	目標値	55	回		実績値				目標値																
	成果指標	令和4年度	単位																																												
	訪問等実施者数	実績値	197	人																																											
		目標値	230	人																																											
	健康教育実施回数	実績値	70	回																																											
		目標値	55	回																																											
		実績値																																													
		目標値																																													
C 課題の整理	事業の評価・課題	C ・健康状態不明者への訪問等では、健康状態や生活状況を把握し、支援が必要と思われるケースを医療・介護などにつなぐことができた。 ・高齢者を対象にフレイル予防に関する健康教育を実施することで、セルフケアを促すことができ、介護予防と健康づくりにつながった。今後もフレイル予防のため、地域の通いの場などでの健康教育を実施していく。																																													
	A 今課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 ・健康状態不明者への訪問等の支援を継続し、健康状態の把握と必要な支援につなげ、重症化予防を図る。 ・高齢者が集まる地域の通いの場等で医療専門職によるフレイル予防に関する健康教育を実施し、高齢者の健康増進と介護予防を推進する。																																												
		観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	ない																																							
			②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地																																								
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																									